

名古屋大学高等教育研究センター

第65回客員教授セミナー

大学の授業における認知的負荷量のマネジメント ー学習効率性を高めるためにー

Leveraging Learning Efficiencies by Managing Cognitive Load for Instruction

リュ・ジホン氏 (Dr. Ryu Jeeheon)

(大韓民国 全南大学校 副教授)

【講演要旨】

現代の高等教育環境においては、情報過多によって教育の質はむしろ低下しつつあり、学習者にはますます複雑な学習が求められるようになった。このため、授業担当者にとっても、学習者にとっても、より効率的な教授方略が必要とされている。

このセミナーでは「認知的負荷理論」(cognitive load theory)の観点から、学習者の認知要求についての理論的根拠を提示する。認知的負荷理論のねらいは、授業担当者がより効率的な教授環境を工夫することにより、最終的な学習成果を高めることにある。

最初に、認知的負荷理論の基本的な考え方、およびこれを授業設計に援用する方法を紹介する。次に、授業設計の際の基準設定や学習成果の測定方法について言及する。最後に、「認知的効率性」(cognitive efficiencies)を測定するための具体的な方法を提案する。

日時：2013年2月20日（水）16：00～17：30

場所：名古屋大学 東山キャンパス

文系総合館7Fオープンホール

※このセミナーは英語で行います。日本語通訳はありません。

【お問合せ先】

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

Tel : 052-789-5696

ご参加いただける方は、事前に上記メールアドレスまで
ご一報いただくと助かります。

会場準備の都合によるものですので、必須ではありません。